

A. 活動方針

1. 活動の経緯；

- ・2021年6月に「SDGs 活動支援チーム」を発足し活動を開始しました。当初は当 NPO クラブの内部課題を SDGs の観点から整理する事から始め、優先課題の提言をまとめました。
- ・2022年からは当 NPO クラブの活動内容の整理から始め、その活動を SDGs の観点で整理し直す事に重点を置いた活動を実施してきました。
- ・上記と並行して「いかに SDGs の具体的支援活動をするか」に重点を置き、モデル企業を選定（野火止製作所）し、具体的支援活動を開始しました。

2. 本年度の活動方針

- ・本プロジェクトも3年目に入るので本年末（12月）で本チームの活動を一旦総括すること。
- ・昨年からはモデル企業（野火止製作所）への具体的支援活動を開始しているが、今年はこの一社に集中して活動すること。
- ・今までの活動は本チームでの活動が主体だったが、出来るだけ多くの会員が参加できる体制を検討すること。

上記活動方針に沿って以下に現状の支援活動の状況を整理しました。

B.活動内容について

1. NPO 活動を SDGs の観点から整理し会員と共有する

- 1) SDGs×NPO 活動関連マトリックス表と説明資料の作成
 - ・ NPO クラブ活動と SDGs 関連リスト
 - ・ NPO クラブ活動と SDGs 目標総括表
- 2) 会員との共有化；HP への上記資料の掲載と会員への説明

2. 中小企業への SDGs 活動支援

モデル企業を選定（野火止製作所）し下記活動を進めている。

- 1) 経営計画作成支援
 - SDGs の観点から「水」をテーマとした新規事業の立ち上げを織り込んだ経営革新計画作成をサポート（10月に埼玉県庁に提出済）
 - ・今後の補助金申請等に活用していく
 - ・企業 PR に有効
- 2) 業務改善支援
 - ・支援分担の明確化； DX チーム；見積もり精度向上支援
 - SDGs チーム；新事業（コスモス）販路拡大支援
 - ・超磁場活水器コスモス販路拡大への支援
 - ・企業紹介
 - ・エビデンスへの対応
 - ・量産体制への対応
- 3) コスモス新分野の開拓支援
 - ・農業、畜産
 - ・食品加工等
- 4) 広報活動支援

3. 会員が参加し易い体制造り

1) SDGs 活動状況の共有化

- (1) 中間活動報告、HP、メルマガの活用を通して会員へのアピール強化
- (2) 小グループ意見交換、活動参加者の勧誘

2) 自主的な SDGs 活動の共有化

- (1) NPO クラブ自体の SDGs 活動のアピール
 - ・子供食堂
 - ・ジェンダー（女性の活動の場の拡大）
- (2) 会員自体の SDGs 活動のアピール
 - ・SDGs コーナーを HP、メルマガに開設し、投稿参加を募集

C. 現状の問題点と今後の進め方について

1. 活動を通して気付いたこと

- 1) 我々のお客様である社会は世界的に SDGs の考え方を共通の指標として動いているので、我々の活動を SDGs の観点で整理して社会にアピールする事が大切だが、NPO 活動は始めから SDGs 活動そのものなので、会員としては関心が薄い傾向がある。
- 2) 支援する中小企業にとっても SDGs の観点からその企業を販売先にアピールする事は有効な活動だと思うが、現実はまだ積極的に取り組もうとする企業は少ない。
- 3) 根本的には「SDGs 活動をアピールして効果があるのか?」「SDGs 活動は自分たちの利益になるのか?」という意識があると思う。
- 4) 従って、現状のままでは中小企業に対する SDGs 活動支援は発展性が少ない。
- 5) 広報活動の重要性が益々大きくなってきているが、我々としては充分活用出来ていない。

2. 今後の SDGs 活動支援の進め方について（提案として）

- 1) 現状のモノ造り改善支援活動をより効果的に進めて行く一つのきっかけとして、

「SDGs 的発想が中小企業の抱える問題を解決する」

「SDGs 活動のお客様へのアピールは企業イメージを好転させる」

という考え方をもっと取り入れてみることも有効ではないかと思います。

理由； 1. SDGs 的発想は今までにない新しい改善につながるきっかけ作りに有効

2. SDGs に沿った製品が売れる時代

3. 大企業での SDGs の取り組みはその内必ず中小企業に求められるようになる

4. SDGs の広報活動は企業イメージの改善と人材の確保につながる

- 2) 進め方について

(1) 支援実施は、現状のモノ造り改善を支援してきたチームやプロジェクトが主体となって、その活動に SDGs 的発想を入れた改善指導を行っていく。

(2) 進め方のポイントは

- ・モノ造り改善支援メンバーとの意見交換、考え方のすり合わせが大切
- ・活動対象となる 1, 2 社を特定支援会員企業から選抜き関係者で進め方協議

(3) 支援先企業のトップにいかん SDGs を理解しその効果を納得してもらうか。

(4) その改善活動は SDGs との関連付けを明確にして対外アピールに活用する。

以上